

令和8年度

岡山県立大学 公開講座

日常のデザイン

日常の器・サイン・住まいを題材に、演習や講義を通して、色や形、素材の工夫が人の行動や心地よさにどのような影響を与えているのかを学び、身近な暮らしを支えるデザインの役割や可能性について考えます。

- ◆ 一日目：セラミックデザインの分野から、釉薬の講義とその内容を実践的に学ぶ演習を行います。
- ◆ 二日目：グラフィックデザインの分野と建築の分野から、私たちの暮らしに寄り添う身近なデザインについて学びます。

【担当】デザイン学部

月日	時間	テーマ	講義・演習	講師
8月22日 ^土	9:30 ～ 9:40	開講式(10分)	—	岡山県立大学 学長 五福 明夫
	9:40 ～ 11:50 (休憩10分 含む)	<器を彩る釉薬> 日常に使う食器には様々な色や質感があります。その特徴や素性を講義し、オリジナルの釉薬を作り、器にかけ、焼成して次回にお渡しします。	講義 + 演習	工芸工業デザイン学科 教授 真世土 マウ 准教授 作元 朋子
8月29日 ^土	9:30 ～ 10:30	<身近なサインデザイン> 身の回りにある案内表示や看板を題材に、サインデザインが人の行動や理解をどのように支えているのか、その目的や役割を考えます。	講義	ビジュアルデザイン学科 教授 野宮 謙吾
	10:40 ～ 11:40	<心地よさ、楽しさをつくる 住まいのかたち> 住まいは何気ない日常を過ごす場所です。そこに心地よさと楽しさをつくりだすための「かたち」とはどのようなものか?を考えます。	講義	建築学科 准教授 岩堀 未来
	11:40 ～ 11:50	閉講式(10分)	—	デザイン学部 学部長 北山 由紀雄

- ・この講座は、岡山県生涯学習大学連携講座です。
- ・両日とも出席の方に修了証を交付します。

受講料
無料

開催期間

8月22日(土)、8月29日(土)の計2日間

会場

岡山県立大学 総社市窪木111
(無料駐車場あり、
JR吉備線(桃太郎線) 服部駅から徒歩5分)

受講定員

対面:30名(受講申込者多数の場合は、抽選とさせていただきます)

受講対象者

岡山県に在住及び在勤の方

受付期間

令和8年6月1日(月)～6月30日(火)
(必着)

お申し込み方法

ホームページのお申し込みフォームからお申し込みください。または、「E-mail」、「FAX」「往復はがき」に住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・メールアドレスをご記入いただき、「日常のデザイン」受講希望」とご明記のうえ、お申し込み先へお送りください。なお、一人一通の申し込みをお願いいたします。



岡山県立大学HP